

## ■北海道・木育フェスタ2023の開催

道民との協働による森林づくりを進めるため、北海道・木育フェスタの開催により「北海道植樹の日・育樹の日」の普及啓発を実施

主催：北海道、北海道森林管理局、公益社団法人北海道森と緑の会 等  
 協力：林業関係団体 協賛：包括連携企業 等

### ■開会式/「緑の募金」出発式

フェスタ2023開会式、「緑の募金」街頭募金

開催日：令和5年5月13日（土）  
 場所：道庁1階ロビーホール  
 JR札幌駅南口ほか  
 参加者：ボーイスカウト・ガールスカウト  
 一般道民 250名



### ■第73回北海道植樹祭

式典、植樹活動、木育ワークショップ・パネル展示 等

開催日：令和5年5月28日（日）  
 場所：厚真町幌内  
 参加者：一般道民  
 包括連携協定  
 締結企業  
 緑の少年団 ほか  
 約700人



### ■道民森づくりの集い

森林ボランティア団体等の活動紹介や木育マイスターによるワークショップ等の実施 等

開催日：令和5年10月予定  
 場所：未定  
 参加者：一般道民ほか  
 約1,200人



### ■木育ひろばinチ・カ・ホ

木育ひろば、木工体験、大型ビジョンによる普及啓発 等

開催日：令和6年1月下旬予定  
 場所：札幌駅前地下歩行空間  
 参加者：一般道民ほか  
 約800人



## 【参考】令和4年度 道民向け普及啓発等の取組

### ■エコチャレンジの森（植樹体験）

**植樹体験するには**

- ・参加費 無料です
- ・持ち物 長靴や軍手があると作業がしやすいです。 露木、スコップは用意してあります。
- ・服装 作業しやすい服装で

**いつ、体験できるの？**

- ・時期 6月、9月
- ・開催日 毎日開催

**どこに、行けばいいの？**

- ・植樹場所 神居地区水源の森（Cゾーン）

※詳しくは、裏面をご覧ください。

**その他**

- ・気象条件等により、時期や開催日が変更になる場合があります。

**お問い合わせ！**

無償貸出  
  
 石狩振興局森林部 道民の森課  
 TEL：0113-22-2111

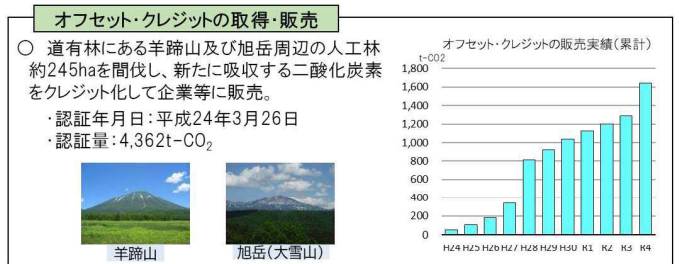
または  
 水産庁管轄森林課  
 森林課課長  
 TEL：011-204-6516

指定管理者  
 （株）北海道森林環境株式会社  
 道民の森管理事務所  
 TEL：0113-22-2011

道民の森神居尻地区に広がる「水源の森」において、道民が気軽に森林づくりに参加できるフィールドとして、「エコチャレンジの森」を設定し、個人の植樹体験や小中学生等の森林環境学習の場として利用されています。これまでに、延べ5,459名の参加者によって、11.20ha、約2万2千本の植樹が行われました。

### ■森林吸収系オフセット・クレジットの取得・販売

道有林においてJ-VER制度により取得したオフセット・クレジットについて、同様のクレジットを保有する道内市町と連携して、道内外の企業等に販売することで、森林整備に対する道民の理解促進を図る。



### ■森林環境税等の理解促進

かけがえのない森を未来へ。

Our Forest For The Future

森林は、木材を生産し、豊かな水を育み、土砂崩れを防ぎ、野生動物などのすみかになるほか、地球温暖化を抑制するなど数多くの恩恵をもたらしており、私たちは、その恩恵を受けながら暮らしています。

しかし、世界的には森林面積の減少が進んでおり、大きな問題となっています。その理由としては、森林の適切な管理や、違法に伐採が行われることなどが挙げられます。

森の恵みを受けながら、森林を守る方法はないのでしょうか？

木を使いながら森林を守る仕組みがあるんです！！

環境に配慮した製品を提供する「森林認証制度」

森林認証のマークの種類

環境省が認定するFSC（森林管理協議会）の認証マーク  
 環境省が認定するPEFC（森林環境協議会）の認証マーク  
 SSGE（持続可能な森林管理）の認証マーク  
 SSGE（持続可能な森林管理）の認証マーク

森林整備の重要性や、令和6年度に課税が開始される森林環境税の意義について道民の理解促進を図る。

- ・温暖化対策や災害防止等の観点から森林整備は重要。
- ・市町村が森林整備等に要する財源を安定的に確保するために本制度が創設。

### ■森林認証制度の理解促進

木を使っても森林を守れるの？

森林は、木材を生産し、豊かな水を育み、土砂崩れを防ぎ、野生動物などのすみかになるほか、地球温暖化を抑制するなど数多くの恩恵をもたらしており、私たちは、その恩恵を受けながら暮らしています。

しかし、世界的には森林面積の減少が進んでおり、大きな問題となっています。その理由としては、森林の適切な管理や、違法に伐採が行われることなどが挙げられます。

森の恵みを受けながら、森林を守る方法はないのでしょうか？

木を使いながら森林を守る仕組みがあるんです！！

環境に配慮した製品を提供する「森林認証制度」

森林認証のマークの種類

環境省が認定するFSC（森林管理協議会）の認証マーク  
 環境省が認定するPEFC（森林環境協議会）の認証マーク  
 SSGE（持続可能な森林管理）の認証マーク  
 SSGE（持続可能な森林管理）の認証マーク

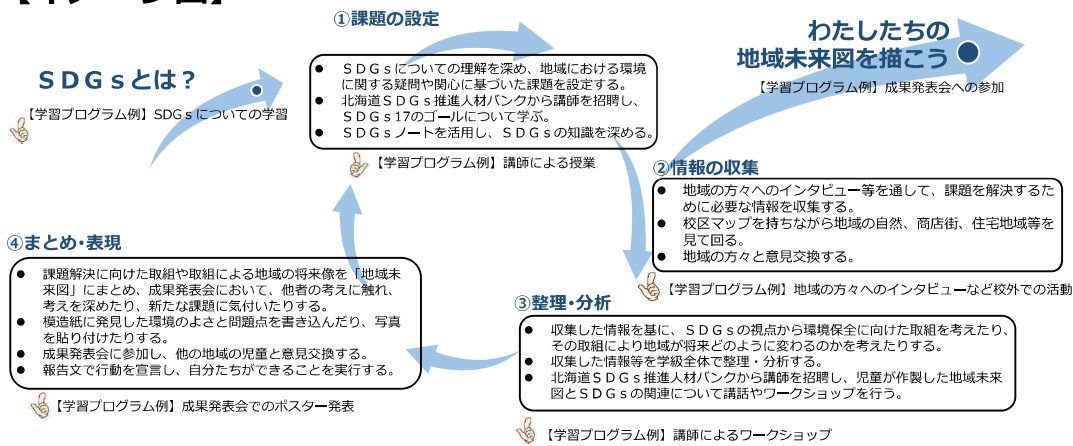
森林資源の持続可能な利活用と保全を図るための制度である森林認証制度や、道産森林認証材の普及を図る。

- ・消費者による選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する制度。
- ・北海道の森林の約28%が認証森林であり、全国の認証森林の約6割を占める。

## 【概要】

- 道では、令和3年度より、企業の皆様のご支援を受け、（公財）北海道環境財団及び北海道教育庁との協働により、企業・団体からの協力金を受け、道内の小学生5～6年生を対象にSDGsを活用した環境教育を行っています。
- 「学び」、「深め」、「共有する」の3つのステップを通じて、子どもたちがSDGsの視点を活用しながら環境・経済・社会の関わりを学ぶことで、自分のまちの環境の良さや問題点への気づき、地域貢献への意識の芽生えを促し、将来的に地域を牽引する持続可能な地域のリーダーとなる人材の育成を目指しています。

## 【イメージ図】



令和4年度参加校作成地域未来図



SDGs講師による授業の様子

## 【今後の事業展開】

- 令和5年度は道内7校で実施。11月開催の成果発表会に向け授業を実施中。
- 令和6年度の実施校は令和5年10月頃募集開始予定。

## 【参考】環境教育関連事業について

### ○環境教育・環境保全活動に関するプログラム実践講座

- 環境教育の担い手を育成するため、教員や教育施設職員等を対象に、現場で活用できる「知識の習得」と「体験」を重視した講座。
- 令和4年度は、「生物多様性を学ぶ自然の直接体験指導法講座」をテーマとし、一人でも多人数でも異なる年齢集団でもできる自然の直接体験方法や、身近なところで「自然に対する気づき」や「自然との関係性に関する実感」を得るための自然体験学習の実施法についての講座を実施。



主催：北海道  
（公財）北海道環境財団

### ○eco-アカデミア

- 道民の皆様が環境問題に関する学習会等を開催する際に、環境の各分野で活躍されている専門家をトレーナー（講師）として派遣。トレーナーへの謝金と旅費は道が負担。

#### （主な講座）

- 元気なうちにお片付け
- 野生動物及びフットパス
- 体験を学びに活かす環境教育
- SDGsと協働による持続可能な地域づくり
- 海ごみはどこからきたの？



（実施時期：通年開催）

### ○地域環境学習普及事業

- 環境に配慮した地域づくりをめざし、環境保全意識を持ち主体的に行動できる人づくりを推進するため、各（総合）振興局が主体となり、学校、事業者、地域団体・市民活動団体、市町村等と連携しながら、道民に環境教育や環境保全活動に関する機会や情報を提供し、地域における取組を促進することを目的として実施する事業。

（令和4年度実施内容）  
出前環境学習講座、自然観察会等  
14（総合）振興局で29事業を実施



### ○環境の村事業

- 道民一人ひとりが環境問題を身近なものとして受け止め、環境に配慮した行動の実践へと結びつけることができるよう、参加・体験型の環境教育機会の提供や環境教育の指導者育成研修等を実施。（NPO法人当別エコロジカルコミュニティに委託）

（参考：令和4年度実施内容 ※オンライン開催）

- アースファミリープログラム…「ネイチャージャーナリング」
- エコサロン…「サステナブルな社会に向けた子どもの主体的な学び」
- エコロジーワークショップ…「インタープリテーション：人を迎えるガイドの技術」

（令和5年度：7月以降開催予定）

# 高校生向け普及啓発の取組について（教育×ゼロカーボン）

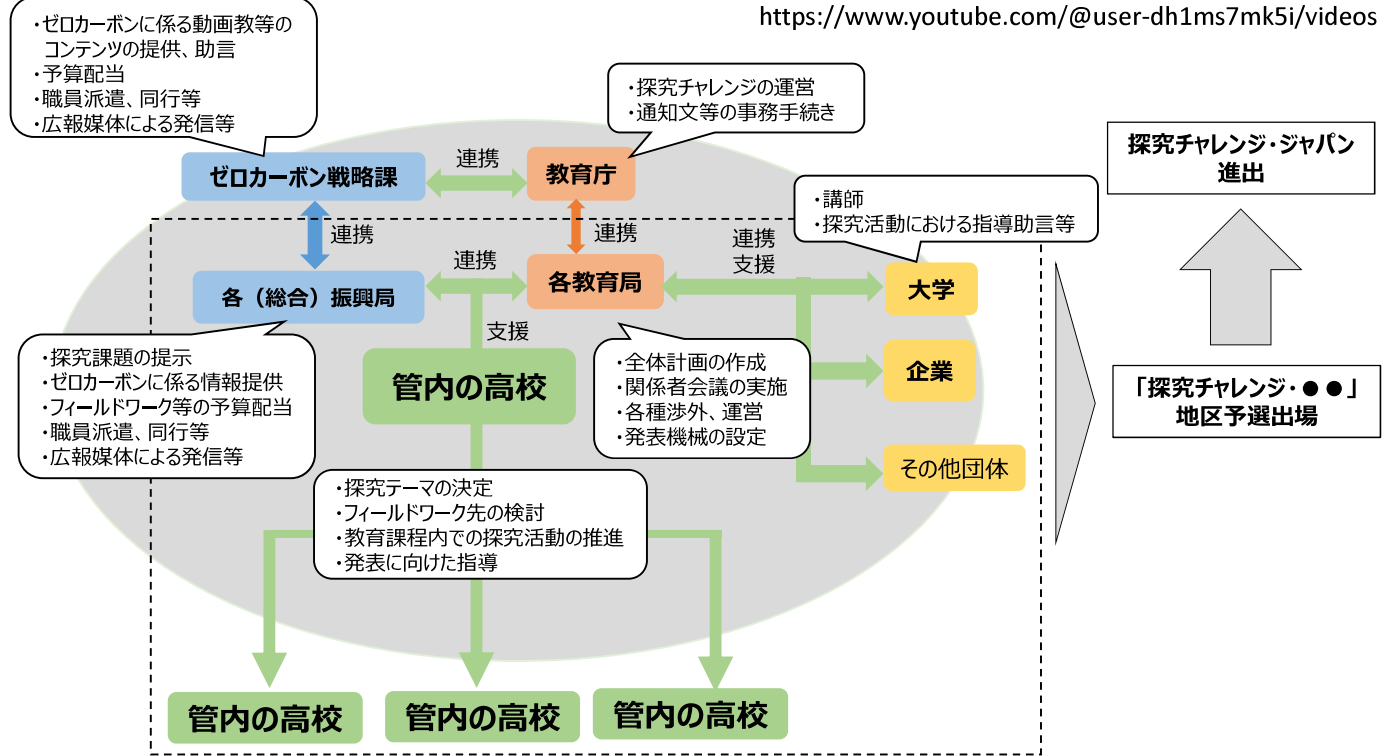
## ■ 連携イメージ例

令和4年度に実施した道民意識調査では10~20代を中心にゼロカーボンの認知度が2割程度で、若年層への発信が不十分であったことから、「探究学習」などの学習機会を活用した普及啓発について教育庁との連携を検討してきた。

動画教材▼



<https://www.youtube.com/@user-dh1ms7mk5i/videos>



## 【参考】令和4年度 道民向け普及啓発の取組

### ■ 動画制作 <https://www.youtube.com/@user-dh1ms7mk5i/videos>

北海道の未来を担う若者向けに、ゼロカーボンについて考えるきっかけを与えるストーリー動画などを制作。

©Youtube 視聴数：1,337,490回 (2/15~3/31)



▲『ゼロカーボンと私たちの未来』



▲NORDからのエモMOVIE

### ■ 地域イベント

令和5年4月に札幌市にて開催された「G7札幌・気候・エネルギー・環境大臣会合」とあわせて、道民への「ゼロカーボン北海道」の理解促進のため、道内6地域でPRイベントを実施。

◎総来場者数：3,850名



▲札幌会場



▲函館会場



▲帯広会場



▲北見会場



▲釧路会場

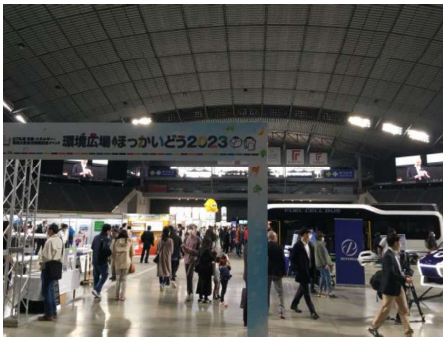


▲旭川会場

## ■環境広場ほっかいどう2023

※来場者 約56,000人

2023年4月15・16日に札幌ドームにて『環境広場ほっかいどう2023』が開催。ゼロカーボン北海道ブースやFCV展示のほか、道教委、北大主催の探究活動成果発表会「探究チャレンジ・北海道」（2023年3月11日実施）で受賞した5校を招待し、ステージ発表とブース出展にて参加いただいた（生徒17名、引率教員5名）。



▲会場の様子



▲ゼロカーボン北海道ブース



▲FCV（燃料電池自動車）



▲探究チャレンジ・北海道表彰校のステージ発表①



▲ブースでの知事と表彰校の生徒たちの集合写真



▲探究チャレンジ・北海道表彰校のステージ発表②